

## 第3学年 A 組

1 学年経営目標(3年間を見通した指導を行う)

協働～5年後の「自立」へつなぐ支援と包容～

2 学年目標

共生～認め合い・自律・進化～

3 学級経営目標

失敗を恐れず挑戦し、互いの努力を認め合いながら、自ら学級をよりよくしようと行動できる学級集団を形成する。

- ・小さな挑戦や改善を日常的に価値付けする。
- ・「結果」だけでなく「過程」を評価し、努力が認められる環境を整える。
- ・学級課題を自分事として捉え、主体的に改善へ関わろうとする意識を育成する。

4 クラス目標(生徒が話し合いで決めたもの)

たのし田 たすけあい のびのびと過ごし 信頼しあい 団結できるクラス

5 具体的な目標と取り組み

項目	目標	(目標を達成させるための) 具体的な取り組み
学習指導	・自ら課題を見つけ、目標を設定し、振り返りを通して、改善しながら学習に取り組む力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年で共通した学習規律(提出物の扱い、学習計画の立て方等)に基づいて指導を行う。</li> <li>・定期テストや提出物、課題に向けて具体的な目標を設定させる。</li> <li>・学習計画表や振り返りシートを活用し、取り組みを可視化する。</li> <li>・提出物の未提出や学習停滞が見られる生徒には早期に個別指導を行う。</li> <li>・整理整頓を徹底し、集中して学習できる環境を整える。</li> <li>・学年・教科担当と連携し、必要に応じて教え合い・話し合い活動を取り入れ、協働的に学ぶ姿勢を育成する。</li> <li>・学習の定着に課題のある生徒に対しては、課題の質や量を調整しながら段階的に指導し、継続して取り組めるよう支援する。</li> </ul>
道徳教育	・相手の立場や背景を踏まえて言動を選択し、互いの違いを認めながら、関わる態度を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳授業での自己内対話や日常の出来事を通して、多様な価値観に触れる機会を設ける。</li> <li>・発言や話し合いの場で、異なる意見を否定せず受け止める姿勢を指導する。</li> <li>・帰りの会や学活で仲間の良い行動を共有する機会を設ける。</li> <li>・トラブルや葛藤場面では、感情だけでなく「どう行動することが最適か」を考えさせる指導を行う。</li> <li>・学年で実施するSEL活動と関連付けながら、人間関係づくりの力を継続的に育成する。</li> </ul>
キャリア教育 (進路学習)	・自己の適性・希望・課題を踏まえ、自分の意思で進路を選択し、その実現に向けて計画的に行動する力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路情報を整理・管理する方法を指導する。</li> <li>・二者面談、三者面談を通して自己理解を深めさせる。</li> <li>・自分の進路について考えたことを言語化し、他者に伝える機会を設ける。</li> <li>・進路決定までのスケジュールを確認し、逆算して行動できるよう支援する。</li> <li>・自己の課題や現状を分析し、目標達成に向けた行動計画を立てさせる。</li> </ul>
生活指導	・自由な挑戦や安心して過ごせる学級風土を支える土台として、時間・提出物・身だしなみ・言葉遣いを自ら整え、場に応じた行動を選択できる力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年共通の指導基準に基づき、統一した指導を行う。</li> <li>・問題行動や気になる生徒の様子は速やかに学年で共有し、組織的に対応する。</li> <li>・2分前着席、期限厳守、提出物管理を日常的に指導する。</li> <li>・場に応じた言葉遣いや礼儀について、その都度具体的に指導する。</li> <li>・生活記録や振り返りを通して、自身の生活習慣を見直させる。</li> <li>・表情や行動の変化を見逃さず、早期に声掛け・相談を行う。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対人関係の課題について振り返る機会を設け、よりよい関わり方を学ばせる。</li> </ul>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級や集団の課題を自ら見つけ、役割に応じて主体的に改善へ関わり、自分にできる形で集団に貢献する力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・係、当番、委員会活動の役割を明確にし、責任をもって取り組ませる。</li> <li>・役割に応じて身に付ける力(リーダーシップ、協働、責任感等)を意識させながら活動させる。</li> <li>・行事ごとに個人目標を設定させ、終了後に振り返りを行う。</li> <li>・リーダーだけでなく、支援・準備・協力した生徒の行動も評価する。</li> <li>・班長会や学級会を活用し、学級課題の共有・改善策の立案・実践・振り返りを行う。</li> <li>・挑戦した過程を認める声掛けを継続する。</li> </ul>
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と情報共有を図り、学校と家庭が同じ方向性で生徒の成長を支える体制を構築する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速かつ丁寧な電話連絡・家庭連絡を行う。</li> <li>・必要に応じて面談を行い、家庭と連携した継続的支援を図る。</li> <li>・学級通信等を通して学校での様子を具体的に伝える。</li> <li>・課題だけでなく、努力や成長も積極的に共有する。</li> </ul>